

理工学部設置 総合教育科目

総合教育セミナー

さまざまな
トピック

アウトプットの
ちから

ひととの
繋がり

少人数

理工学部総合教育セミナーとは

「総合教育セミナー」は、学生が自分で問題をみつけ、調査・思考し、論理的・説得的な表現（口頭発表やレポート）でその成果を伝える経験を積むことを目的としています。みなさんの多くが苦手意識をもっている「アウトプット」の能力を伸ばしませんか？それは大学での課題に取り組む際はもちろん、日常生活においても必ず役立つ力です。

このセミナーは理工学部設置科目ですが、その内容は自然科学にとどまりません。人文科学や社会科学に関する授業も多く、各教員がそれぞれの得意分野を活かしたセミナーを展開しています。また昨年度から、新たに2名の教員が担当するGIC科目も加わりましたが、今年度は英語にくわえて朝鮮語のセミナーも開講されます。このパンフレットを眺めてみただけでも、みなさんの興味をひきつけるものがいくつも見つかるのではないのでしょうか。

日吉開講科目のなかで「総合教育セミナー」は、教員と学生、そして学生同士の距離がもっとも近い授業のひとつといえます。20名以下（GIC科目は30名以下）の少人数で進められるので、口頭発表の方法やレポート作成の仕方に迷ったときには、その道のエキスパートである教員からの的確なアドバイスをもらえるのが魅力です。セミナーによっては、さまざまな学部・学年の学生が参加しています。そのため、同じ興味をもった友人たちと出会える素晴らしい機会となっているように思います。

セミナーを通して、みなさんは、さまざまな知識やひととの繋がりが人生を豊かにし、生きるうえでの最大の武器となることを実感するでしょう。春学期もしくは秋学期に、春学期に受講してみて面白ければさらに秋学期も、そして1年生も2年生も、それより上の学年のみなさんも是非「総合教育セミナー」を受講してみてください。割とハードなのに受講者の満足度が非常に高い科目。それが「総合教育セミナー」です。

総合教育セミナー履修にあたっての注意事項

- * 履修にあたっては講義要綱・シラバス、および時間割を入念に確認してください。
- * 総合教育セミナーⅠ・Ⅱの各クラスの募集人数は原則として20名(GIC科目は30名)です。希望者が多い場合は抽選になります。
⇒**[GIC科目]**とは、国際的かつ学際的な人材の育成を目的として、英語(またはその他の外国語)で開講される授業のことです。
総合教育セミナー(GIC)Ⅰ・Ⅱの使用言語は英語もしくは朝鮮語で、2名の教員によって運営されます。
- * (理工学部生のみ)総合教育セミナーⅠ・Ⅱは、履修登録取消不可科目です。
理工学部生以外の学生は、各学部の履修案内の指示のとおりです。
- * 同じ科目名の授業を複数クラス履修申告することは可能ですが、2科目以降は自由科目としての履修となります。

春学期 履修申告の流れ

4月3日(木)12:30~5日(土)16:00 履修申告期間(一次申告)

- * 総合教育セミナーⅠ(春学期開講)の履修を希望する場合、この期間に申告してください。

4月7日(月)16:00(予定) 履修調整結果発表

- * 履修申告の結果、定員を超過した場合には履修者数調整を行います。調整の結果は、「履修申告」画面で確認してください。

4月7日(月)16:00~初回授業の前日まで
履修申告期間(二次申告)

- * 一次申告後、定員に余裕のある科目は二次申告期間でも引き続き履修申告できます。履修申告画面で選択できる科目が申告でき、一次申告で定員に達した科目は画面に表示はされず、履修申告はできません。
- * 二次申告期間に申告する場合、**初回授業の前日までに必ず履修申告を終えてください。**
- * 初回授業日に選抜を行います。選抜の結果は**初回授業の翌日までに keio.jp のメールアドレス宛に通知されます**ので、必ず確認してください。

秋学期 履修申告の流れ

9月24日(水)12:30~26日(金)16:00 履修申告期間(一次申告)

- * 総合教育セミナーⅡ(秋学期開講)の履修を希望する場合、この期間に申告してください。

9月29日(月)16:00(予定) 履修調整結果発表

- * 履修申告の結果、定員を超過した場合には履修者数調整を行います。調整の結果は、「履修申告」画面で確認してください。

9月29日(月)16:00~初回授業の前日まで
履修申告期間(二次申告)

- * 一次申告後、定員に余裕のある科目は二次申告期間でも引き続き履修申告できます。履修申告画面で選択できる科目が申告でき、一次申告で定員に達した科目は画面に表示はされず、履修申告はできません。
- * 二次申告期間に申告する場合、**初回授業の前日までに必ず履修申告を終えてください。**
- * 初回授業日に選抜を行います。選抜の結果は**初回授業の翌日までに keio.jp のメールアドレス宛に通知されます**ので、必ず確認してください。

開講科目一覧

総合教育セミナーⅠ [春学期]

登録番号	氏名	曜日	時限
47970	山口 早苗	月曜日	3時限
37437	亀ヶ谷 昌秀	火曜日	3時限
15870	木下 京子	火曜日	3時限
04533	熊木 淳	火曜日	3時限
20177	藤原 慶	火曜日	3時限
19346	森 貴司	火曜日	3時限
27937	荒木 文果	水曜日	3時限
47946	岩波 敦子	水曜日	3時限
23673	見上 公一	水曜日	3時限
47616	田邊 孝純 中野 誠彦	水曜日	4時限
17487	小林 景	水曜日	5時限
05834	秋田 恭子	金曜日	3時限
33871	上野 理恵	金曜日	3時限
29189	竹崎 一真	金曜日	3時限
27774	山下 一夫	金曜日	3時限

総合教育セミナー(GIC)Ⅰ [春学期]

登録番号	氏名	曜日	時限	言語
45871	彭 林玉 今井 悠人	火曜日	3時限	英語
23688	ディル, ジョナサン 佐藤 元状	水曜日	3時限	英語
47912	金 景彩 孫 真元	木曜日	3時限	朝鮮語

総合教育セミナーⅡ [秋学期]

登録番号	氏名	曜日	時限
47984	山口 早苗	月曜日	3時限
05195	熊木 淳	火曜日	3時限
23889	栗原 将人	火曜日	3時限
47965	岩波 敦子	水曜日	3時限
23085	見上 公一	水曜日	3時限
27760	石黒 仁揮	水曜日	4時限
57801	二瓶 栄輔	水曜日	4時限
41967	高桑 和巳	木曜日	3時限
05849	秋田 恭子	金曜日	3時限
42652	上野 理恵	金曜日	3時限
28512	竹崎 一真	金曜日	3時限

総合教育セミナー(GIC)Ⅱ [秋学期]

登録番号	氏名	曜日	時限	言語
45905	安藤 景太 宮本 佳明	月曜日	3時限	英語
10760	小原 京子 鈴木 久美	月曜日	3時限	英語
45886	井本 由紀 ロビアーノ, キアラ	火曜日	3時限	英語
23090	ディル, ジョナサン 佐藤 元状	水曜日	3時限	英語
47931	金 景彩 孫 真元	木曜日	3時限	朝鮮語

春学期

Spring

総合教育セミナー I

下記はあくまでも略述です。各講義名をクリックすると講義要綱のページに移動できます。必ず詳細を確認してください。

◆ 秋田 恭子

夢分析入門

精神分析の創始者フロイトは夢を無意識への王道と考えました。研究者や人々が夢をどのように考えたかについて、受講生の皆様によるグループまたは個人発表を通して学びます。希望があれば、受講者の皆様の夢について、みんなで連想することもしたいと思っています。

◆ 荒木 文果

バーチャル美術館

芸術家にして科学者であるレオナルド・ダ・ヴィンチをとりあげ、各自のテーマを掘り下げながら、よりよいプレゼンの方法を身に付けます。後半はグループに分かれて、わたしたちの展覧会を作成します。また、効果的に作品展示する方法を学ぶため展覧会を観覧します。

◆ 岩波 敦子

都市を知る一街を創る 比較都市の旅(1)

人と人がともに住まう都市空間の創成と成長について考えます。自分が紹介したい都市を選び、広報担当者になったつもりで、その都市の歴史を紐解き、現状を分析、未来への展望を語ってください。期末レポートも提出してもらいますが、主眼は発表力の向上に置かれています。

◆ 上野 理恵

外国から見た日本(1)

ジャポニスム(日本趣味)をキーワードに、海外で日本文化はどのように受容されてきたか、日本や日本人はどのように捉えられてきたかを考えつつ、そこから見えてくるさまざまな問題について議論します。そのなかで各自がテーマを見つけ、発表とレポートの作成をおこないます。

◆ 亀ヶ谷 昌秀

ことばの学び方 — 初習外国語の効果的学習方法を考える —

効果的な外国語学習法を、教える立場からではなく学習者の立場から考えます。それぞれの参加者が初習言語の学習を通じて気づいた言語の特徴について、また学習経過および学習成果について発表し、レポートします。これらの中で「書く力」「話す力」、「聞く力」を身に付けます。英語以外の外国語も学びましょう。

◆ 木下 京子

興味関心があることを調査し、考察を深める

あなたが将来携わりたい研究や仕事、社会問題や倫理的課題等について調査・分析し、自身の考察を深めましょう。調べたことを発表し、レポートにまとめてみましょう。他の受講生の発表を聞くことは知見を広げる絶好の機会になります。自身の発表能力や文章力だけでなく、他者への「質問力」「コメント力」も高めましょう。

◆ 熊木 淳

物語における警察の表象

警察の存在は、あらゆる物語において無視できないものになっています。この存在がどのように物語を駆動させているかを、さまざまなジャンル(映画、テレビドラマ、小説、漫画など)の実例を検討することで明らかにしていきます。各自が発表をもとにレポートを作成します。

◆ 小林 景

応用から入る大学数学

AIやIT分野など、現代社会における「応用数学」のニーズは高まる一方ですが、大学においては、何年間かの基礎的な数学の習得の後に応用数学を学ぶのが通例です。そこで本セミナーでは「疑問」「調査」「発表」を通して応用数学の重要性や楽しさを先取りで体験することを目指します。

◆ 竹崎 一真

スポーツを考える

社会や技術の変化とともに、スポーツの姿も変化し続けています。その変化は、スポーツそれ自体、そしてスポーツを行う人間のあり方にどのような影響を及ぼすのでしょうか。授業では、スポーツの現場へのフィールドワークと、それを基にした発表やディスカッションを行うことで、現代のスポーツについて考えていきます。

◆ 田邊 孝純 ・ 中野 誠彦

大学での座学は社会に出た後にどのように役立つのか？

大学での座学、研究室での基礎研究、そして企業での実践的な開発業務は、それぞれどのように結びついているのでしょうか。1週目と2週目には企業と大学研究室を訪問し、3週目には今の授業での学びとの関連や大学と企業での研究の違いについてグループディスカッションを行います。これらを電気や情報に関連する4つの研究分野で見てください。

◆ 藤原 慶

生命を創る研究について考えよう

生命が分子としてどう成り立っているかの理解が進んだ結果、生命は分子を集めて創れる時代に入りつつあります。このような現代の「創る」生命科学を題材に、討論や発表、レポート執筆などのスキルを身に着けることを目指します。

◆ 見上 公一

科学の社会的責任

科学が急速に発展し、社会の状況も刻々と変化している今日、科学者たろうとする者は科学の果たすべき責任について考えていくことが重要です。いくつかのテーマについて発表やディスカッションをおこないながら、科学者コミュニティの一員としての責任のあり方を考えていきます。

◆ 森 貴司

カオス理論入門

皆さんが高校、または大学初年度で習う力学では、主に「手で解ける」問題を扱います。しかし、実際の複雑な問題は「非線形性」のために手で解くことはできません。本セミナーでは、そのような非線形力学系が示す不規則運動---カオス現象---を理解すべく、教科書を参加者全員で読み進めながら、プレゼン・議論を通して大学で必要な技能を学びます。

◆ 山口 早苗

歴史・文化を読むための入り口(1)

皆さんは現在生活している日本という国以外のどの国・地域の文化・歴史に関心を持っているのでしょうか？この授業では関心のある文化・歴史に関する本を取り上げてもらい、その内容について報告してもらいます。選択した書籍のプレゼン・レポート作成を通じて大学に必要な基礎的な技能を学んでいきます。

◆ 山下 一夫

東アジア・サブカルチャー研究

マンガ・アニメ・ゲーム・映画・テレビドラマ・音楽など、東アジアのサブカルチャーを扱った研究書を自分で選び、通読してその内容について発表を行い、教員や他の受講者と議論をした後、さらにその本についての書評を作成します。

Liberal arts and sciences seminar 2025

総合教育セミナー(GIC) I

◆ 金 景彩 ・ 孫 真元

韓国SF小説を読む

2000年代以降の韓国で発表されたSF (Science Fiction) 小説を通じて、テクノロジーの発展と文学の関係を考察します。「世界文学」の観点から高く評価された作品を、帝国／植民地経験、資本主義、環境問題、パンデミック、フェミニズムなど、時空を横断する様々なテーマから読解し、韓国語を媒介に考える訓練を行います。



◆ デイル、ジョナサン ・ 佐藤 元状

World Literature and Film: The Cases of Murakami Haruki and Kazuo Ishiguro

This course explores the global impact of Murakami Haruki and Kazuo Ishiguro through their literature and film adaptations. Students will analyze their storytelling, themes, and the creative process of adaptation, examining how their works transcend borders and evolve across borders. This interdisciplinary and interactive class encourages students to engage with the work of two literary masters.

◆ 彭 林玉 ・ 今井悠人

Quantitative Data Analysis for Engineering and Social Science

This course provides a basic introduction to quantitative data analysis, emphasizing its practical applications in engineering and social science. We will cover fundamental principles of data collection, analysis, and interpretation, along with a foundational understanding of probability and statistics. These skills are crucial for making informed decisions, conducting research, and addressing real-world challenges.



秋学期

Autumn

総合教育セミナー II

下記はあくまでも略述です。各講義名をクリックすると講義要綱のページに移動できます。必ず詳細を確認してください。

◆ 秋田 恭子

心へのアプローチ

人の心に対しては様々な方法によるアプローチがあります。実験法、質問紙法、観察法、面接法などです。人の気持ちや性格特性を明らかにするこれらのアプローチを皆様の発表を通して学び、人の心について考えます。

◆ 石黒 仁揮

エレクトロニクスデザイン

ArduinoやRaspberry Pi、センサー、モーターなどを組み合わせて自動走行車両ロボットを製作してもらいます。グループに分かれて「課題解決型学習」形式で授業を行います。チーム内で役割分担を決め、議論をしながらハードウェア、ソフトウェアの開発を行い自動走行車両を製作して、最終回で走行競技会を行います。

◆ 岩波 敦子

都市を知る一街を創る 比較都市の旅(2)

人と人がともに住まう都市空間の創成と成長について考えます。自分が紹介したい都市を選び、広報担当者になったつもりで、その都市の歴史を繙き、現状を分析、未来への展望を語ってください。期末レポートも提出してもらいますが、主眼は発表力の向上に置かれています。

◆ 上野 理恵

外国から見た日本(2)

ジャポニスム(日本趣味)をキーワードに、海外で日本文化はどのように受容されてきたか、日本や日本人はどのように捉えられてきたかを考えつつ、そこから見えてくるさまざまな問題について議論します。そのなかで各自がテーマを見つけ、発表とレポートの作成をおこないます。

◆ 熊木 淳

物語における警察の表象

警察の存在は、あらゆる物語において無視できないものになっています。この存在がどのように物語を駆動させているかを、さまざまなジャンル(映画、テレビドラマ、小説、漫画など)の実例を検討することで明らかにしていきます。各自が発表をもとにレポートを作成します。

◆ 栗原 将人

正多角形の作図から整数論・抽象代数の世界へ

通常の授業では扱わない数学のトピック、具体的には正多角形の作図、そこから現れる代数方程式、三角関数の値といった具体的な問題を扱い、初等整数論と共に抽象数学の基礎を題材としてセミナーを行います。主に1年生を対象としています。

◆ 高桑 和巳

推理小説を読む

推理小説というジャンルはどのように成立してきたのでしょうか？ レポート作成の基本について説明を受けたうえで、推理小説の実作品(短篇)を取りあげて発表とレポート作成をおこないます。あわせて、日本語文章術に関する本も読みます。

◆ 竹崎 一真

フェミニズム科学論

科学やテクノロジーの分野は男性を中心に構成されてきました。本授業では、そうした科学やテクノロジーの状況をフェミニズムの視点から批判的に考えることで何が可能となるのかを、フェムテックやAI技術などを題材としながら、フィールドワークや発表、ディスカッションを通して考えていきます。



◆ 二瓶 栄輔

光への招待 ー光の持つ可能性を探るー

光が持っている基本的な性質を理解するとともに、現在の高度情報化社会を支える光技術や、先端医療を支える光技術など、様々な分野で利用されている光技術を紹介します。また、光に関する現象の調査報告や、光を制御する実験を通して、光の持つ可能性について考えていきます。



◆ 見上 公一

科学コミュニケーションとその実践

21世紀に入り、研究成果や技術の内容について伝える狭義の科学技術コミュニケーションではなく、科学や技術について社会と一緒に考えるための科学技術コミュニケーションが必要とされています。多様なコミュニケーションについての考察と実践を通じて、より良いコミュニケーションを実現する方法を考えます。

◆ 山口 早苗

歴史・文化を読むための入り口 (2)

皆さんは現在生活している日本という国以外のどの国・地域の文化・歴史に関心を持っているでしょうか？この授業では関心のある文化・歴史に関する本を取り上げてもらい、その内容について報告してもらいます。選択した書籍のプレゼン・レポート作成を通じて大学で必要な基礎的な技能を学んでいきます。

Liberal arts and sciences seminar 2025

総合教育セミナー (GIC) II

◆ 安藤 景太 ・ 宮本 佳明

Modeling and Analysis of Dynamical Systems with Differential Equations

The target of this lecture course is any dynamical systems in which quantities of concern can change in time. Dynamical systems can be modeled and analyzed with differential equations. Examples can be found in both natural and social sciences, including climate change, logistics, infection, and market economy, for example. Students are expected to select a topic of their interest and mathematically tackle the problem with the aid of Excel or other programming languages, and finally give a presentation on their achievement.

◆ 井本 由紀 ・ ロビアーノ, キアラ

Philosophical concepts and body-mind practices of self-cultivation - Exploring our interconnected and unique selves

In this class, we will study philosophy not only as concepts but also as lived experience, through focusing on body-mind practices of self-cultivation. We will read articles to understand the philosophical, psychological and anthropological background to various kinds of body-mind practices, and the classes will be about integrating this third-person knowledge with second-person (knowing through dialogue) and first person (introspective experiential knowing through understanding the self) knowledge.



◆ 小原 京子 ・ 鈴木 久美

Human Language Understanding and Generative AI: An Exploration of the Uses of AI in University Classes

In this seminar, we will explore helpful and effective ways of using generative AI in university classes through discussions. To achieve this goal, we will compare and contrast mechanisms of human language understanding and those of generative AI, and we will try to identify issues and challenges for current generative AI. By the end of the semester, students will have learned the basic mechanisms of generative AI in relation to those of humans, which will enable them to have their own views on it.

◆ 金 景彩 ・ 孫 真元

韓国SF小説を読む

2000年代以降の韓国で発表されたSF (Science Fiction) 小説を通じて、テクノロジーの発展と文学の関係を考察します。「世界文学」の観点から高く評価された作品を、帝国／植民地経験、資本主義、環境問題、パンデミック、フェミニズムなど、時空を横断する様々なテーマから読解し、韓国語を媒介に考える訓練を行います。

◆ デイル、ジョナサン ・ 佐藤 元状

Transformation in World Literature: From Franz Kafka to Han Kang

This course explores transformation in modern literature, from Franz Kafka to Han Kang, as a response to the anxieties of modernity. Through discussion and critical engagement, students will examine how transformation—physical, emotional, social, or spiritual—serves as a metaphor for change, alienation, and the search for meaning across different times and cultures.